

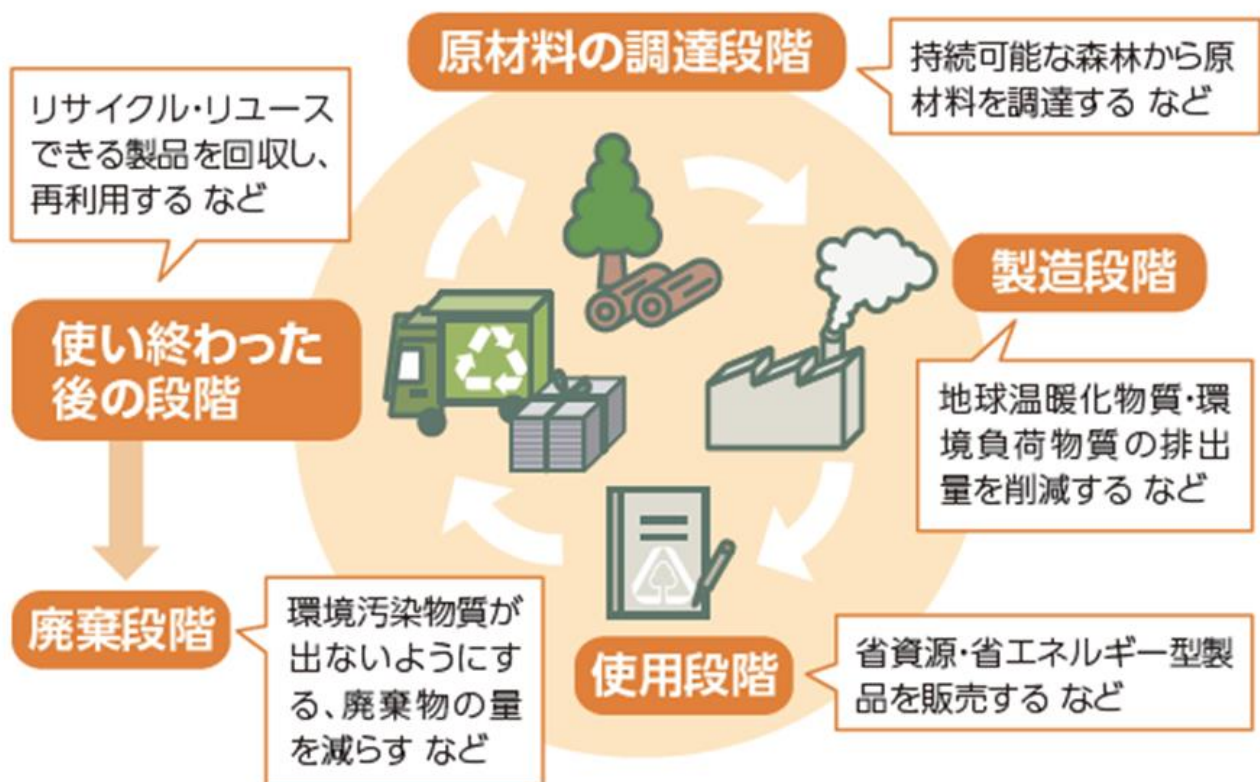
日本製紙グループが提供する

持続可能な社会の構築に貢献する製品

日本製紙グループは「木とともに未来を拓く総合バイオマス企業」として、再生可能な資源である「木」を最大限利用する技術の活かした事業を展開しており、提供する製品やサービスは持続可能な社会の構築やSDGs（持続可能な開発目標）と高い親和性があります※。その上でさらに、グループ各社において、原材料の調達、製品の製造、使用、使用後、廃棄などの製品のライフサイクルの各段階で環境に配慮した製品の開発を進めています。

例えば、従来のプラスチック製品を紙化することでバイオマス比率が向上し、原料は持続可能なものとなります。さらに使用後のリサイクルも可能で廃棄物の量を減らすことができます。また、形状を工夫し、積載効率を向上させることで輸送時のCO₂排出量を削減することができます。

製品のライフサイクルから見る環境配慮



※ 木とともに未来を拓く総合バイオマス企業として、日本製紙グループの事業展開はSDGsの達成に貢献します。